

## 令和元年度 保幼小連携地区ブロック活動報告書

- 1 地区ブロック名 宮城・粕川 地区ブロック  
 今年度のテーマ ポイントとなる姿（ 自然との関わり・生命尊重 ）

- 2 地区ブロックの組織（ブロック内学校・園・所名）  
 ・宮城幼稚園 ・認定こども園赤城育心こども園 ・宮城小学校  
 ・粕川小学校 ・月田小学校 ・粕川保育所  
 ・認定こども園ひまわりこども園 ・認定こども園粕川幼稚園  
 ・認定こども園木の実幼稚園

- 3 連携推進活動（実施した交流活動等）

日 時	場 所	内 容
5月16日（木）	総合福祉会館	第1回地区ブロック会議
5月28日（火）	宮城小学校	第1回「宮城野会」情報交換会
6月21日（金）	月田小学校	学校公開
7月24日（水）	粕川保育所	夏祭り
9月14日（土）	赤城育心こども園	運動会
9月21日（土）	各小学校	運動会
9月28日（土）	宮城幼稚園	運動会
9月29日（日）	木の実幼稚園	運動会
10月 5日（土）	粕川幼稚園	運動会
10月 5日（土）	ひまわりこども園	運動会
10月～11月	各小学校	就学時検診
<b>○10月29日（火）</b>	<b>木の実幼稚園</b>	<b>地区ブロック研修会</b> <b>公開保育</b>
11月 1日（金）	宮城小学校	交流活動「お芋パーティー」
11月19日（火）	粕川小学校	学校公開・持久走大会
11月19日（火）	宮城小学校	第2回「宮城野会」情報交換会
1月24日（金）	月田小学校	交流会（1年生と粕川地区年長児）
2月20日（木）	宮城小学校	学校公開
3月 3日（火）	赤城育心こども園	第3回「宮城野会」新1年生情報交換会
3月10日（火）	宮城幼稚園	第3回「宮城野会」新1年生情報交換会

- 4 令和2年度の代表校園所【 粕川保育所 】

- 5 これからの保育・教育に生かしたいこと  
 ・ 今回、保幼小連携地区ブロックの研修に参加してみて、森の幼稚園と年少

児から年長児の縦割り保育を見させていただきました。

登園時から各コーナーに分かれて遊ぶ姿が見られました。森の幼稚園へ移動する際には、年長児が積極的に年中、年少児への優しい声掛けや、労わる姿も見られました。

園内のコーナー保育や環境設定が定着していることで、子どもたちが意欲的かつ主体的に遊んでいると感じました。自園に戻ってからは、環境設定を通して子どもたちに何を学ばせたいか考え、再度環境を設定しなおしたいと思えます。また、自然との関わりを通して今しかできない経験を充実させ五感を使って遊べるよう今後の保育に生かしていきたいと思えます。

- 今回森の幼稚園を見学し、図鑑や月刊誌だけでは感じることはできない自然を実際に見て、触れることで気付く五感を通した多くの体験を保育に取り入れたいと思った。  
またその際の、子どもたちの意欲・目的意識・主体的・思いやりなどの一面は、10の姿にもつながってくる大切なことだと思うので、その点も意識をして保育を行いたい。  
今後も、小学校とのつながり、10の姿を意識した子ども同士の関わりや環境作りを、他の教師とも共有していきたい。
- 今回、木の実幼稚園で保育参観をさせていただき、小学校一年生の担任として気付いたこと、これからの教育に生かしたいことがたくさんありました。  
登園後園児自らが選んで活動するコーナー保育では、子どもの特性に合わせて充実した活動を促すための場の工夫がなされていました。  
園庭には発達段階に応じて創意工夫をして作られたみんなの家やツリーハウスがあり、子どもたちは「今日はここまで頑張る」という目的をもって木登りに挑戦していました。  
最後に参観させていただいた森の幼稚園では、自然の川や木々を使って子どもたちは互いに助け合い、伸び伸びとダイナミックに外遊びを楽しんでいました。  
どの活動も五感を使って豊かな体験ができるものであり、園児たちの個性を伸ばし、生きる力を身に付けさせようとする幼稚園の先生方の思いが伝わってくるものでした。小学校では、この豊かな経験をさらに繰り返し、気付きの質を高め、児童が自分の思いや考えを表現できる活動の充実を図っていきたいと思えました。
- 自然の中での過ごし方、特に、危険な事象に対しての保育の関わり方が、とても参考になりました。やはり、子どもは、その場で伝えることが一番理解が深まると思うので、今後は、このように伝えたいです。  
コーナー遊びでは、子どもたち自身が何をしたいのか考えて活動できていて、私自身も「次はどんな展開になるのか」期待しながら、保育を見学させていただきました。ツリーハウスも同様で、「自分はどこまで登れるのか？」を見極めて、取り組む姿が見られたので、私のクラスでも、子どもが考え、行動できる環境を整えたいと思えます。

- ・ 木の実幼稚園さんの保育を参観したり、一緒に体験させていただいたりする中で、学ぶことがたくさんありました。まずは、子どもたちが主体的に考え、動いていることです。ついつい先回りしてしまいがちな日々を反省しました。先回りせず、でもしっかりと見守っていること、それが自主性に繋がっていました。次に、大きい子が小さい子の面倒を見ていることです。幼稚園の中は立派な社会なのだと感じました。その社会の中で体験してきたことは、小学校での生活の基礎なのだと思いました。最後に、「自然と関わって遊ぶということは、様々な危険が伴う。だからこそ、指導者は、確かな知識を持ち、それを子どもたちに伝える必要がある。」という話し合いの中での言葉を聞いて大切な事だと思いました。先回りとは違う、様々な事を想定して準備することは重要だと思いました。今回学んだことをこれからの毎日に生かしていきたいと思えます。

- ・ <前半の保育参観から>

(登園時間に雨が降っていたため)室内での自由遊びでは、園舎全体に工作やお絵かき、木工やクッキー作りなどの各コーナーが用意されているので、自分のしたい遊びが始めやすく、自然と異学年交流が生まれると思いました。さらに各コーナーに担当の先生がいることで、学年に関係なく子どもの様子によく目が行き届くと思いました。

(途中から雨が止み)遊びの森の活動では、現地まで歩いていく過程でも、子どもたちはいろいろな気付きや発見をし、楽しそうでした。自然を生かした環境で主体的に遊ぶことで、体の使い方や危険を回避する力、挑戦する気持ちなど、いろいろな力が育っていくと思いました。

- ・ <後半の協議から>

(自然との関わりの中で)五感で感じたことが、より知識として身に付いたり、言語や心情が豊かになったりして、小学校での生活や学習に生かされているとのことでした。自分の園ではできない体験を、地域などを活用してどう補っていくかについて考えていかなければならないと思いました。

- ・ 幼児期の終わりまでに育てほしい(10の)姿、スタートカリキュラムやアプローチカリキュラム、一本化された要録なども活用しながら、幼児期の教育の見方や考え方を小学校とさらに共有できるように、情報交換を行っていきたくと思いました。

- ・ 木の実幼稚園の豊かな環境の元で、子どもたちが伸びやかに過ごしている様子を見させていただきました。その中で子どもの『今』を大切にした環境構成や関わりを保育者が行うことで、より豊かに子どもたちの発想が膨らんでいき、活動が生き生きと展開していくことを知ることができました。公開保育やアドバイザーの先生からの話を通じて、子どもにとり身近な環境の重要性を再確認することができました。その環境が整うことで10の姿が自ずと現れてくるのだと知り、今回の気付きや学びを自園でもしっかりと実践していきたいと思えます。

お忙しい中、公開保育をしていただいた木の実幼稚園の園長先生、諸先生方には大変貴重な時間をいただきありがとうございました。